

えずこホール イベント案内
高鳴れ。魂の響き



世界を舞台に活躍する太鼓芸能集団・鼓童。身体の奥深くまで響く迫力の演奏と、研ぎ澄まされた美しい音の世界をご体感ください。

5/30 [土] 13:00 開演 (12:30 開場)
【全席指定】大ホール
一般 6,000円 U-24 3,000円

えずこホール友の会 会員募集!!

特典1 **実質年会費無料!**

年会費分を割引券で割り戻し
個人会員 **2,000円分**
家族会員 **3,000円分**
*チケット購入1枚につき割引券1枚をご利用いただけます。

特典2 **チケットが10%割引**

主催事業は10%割引、当日券は前売料金でお買い求めいただけます。また、窓口で販売されるその他の一部の催し物のチケットも10%割引でお求めになれます。
*個人会員は2枚まで、家族会員は4枚までの割引となります。

えずこひろば
～親子で楽しむ遊びの場所～

4/22 [水]
10:00～12:00
会場:ホワイエ 参加:無料
(出入り自由/申し込みの必要はありません。)

えずこホール
仙南芸術文化センター
TEL 0224-52-3004
〒989-1267 柴田郡大河原町字小島1-1
URL: http://www.ezuko.com/
info@ezuko.com

本校の授業づくりで大切にしていることは、「対話」と「問い返し」です。1つ目の「対話」の良さは、友達に話すことで自分の考えを再構築できただけでなく、友達の考えを聴くことで新たな価値に気付くことです。また友達に説明するために深く思考することにもつながります。

2つ目の「問い返し」とは、児童の表現に対して返す、教師の働き掛けです。分からない児童の代弁者となってポイントを焦点化して、教師が問い返すことで、分からない児童は置き去りにされず、また説明を聞いて分かっていない児童の理解も更に深まっていきます。1月に開催した自主公開研究会でも、「対話」と「問い返し」の様子を来ていただいた100名以上の県内外の先生方に見ていただきました。



▲ 授業で対話的に学び子供たち

本校の授業づくりで大切にしていること

大河原小学校

本校では、これからもこの2つのことを大切にしながら、授業づくりを行っていきます。

3月7日に第79回卒業式を挙行了しました。令和7年度の卒業生31名が学び舎を巣立ち、本校の同窓生は4455名となりました。
式では一人一人が卒業証書を受け取った後、校長から「これまで築いてきたものを礎に自分の道を切り拓いてほしい」と式辞が送られました。在校生代表からの「先輩方との時間は宝物でした。これからも応援しています。」との送辞にこたえるように、卒業生代表からの答辞では、地域の皆様や保護者の皆様への感謝、後輩への励まし、そして、「互いに助け合い、たくさん笑い合い、この31人で本当によかった。この絆があるからこそ、私たちはどこに行っても大丈夫だと信じています。」と、家族のように過ごしてきた同級生への想いを伝えました。
会場全体が終始あたたかい雰囲気



金ヶ瀬中学校

中に受けた卒業生は、新たな世界へ羽ばたくことへ勇気を抱いていました。在校生の表情には、「学校の伝統を次につなぐのは自分たちだ」という自覚と頼もしさが表れていました。
新年度、それぞれのステージでの新たな歩みが始まります。

わがまち文芸道場



ご遺骨がゆうパックにて届きしと寺のラインに悲しみ滲む
菅野 美榮子
ファイアペーパーメダル取る快挙かな絆の強さ感涙を呼ぶ
渡辺 光子
亡き夫の名の入る桜開花する一輪一輪々々色して
小原 千ハル
青空にあくまでも白き蔵王嶺の冬こそ見事しばし佇む
小成田紀代子
強い風顔に受けつつペダル踏む生きるとはこんなことも
菅井 加寿子
温かな二月ぼんやり庭眺め風情にひたるひとりゆるりと
佐々木 貴枝
夫の忌にワイン煮りんごころろ梅を添え持ちくれし友の心根
加藤 倫子
久々の再会果たし三姉妹思ひでの歌声時にハモリて
里山 みずき
たくさんの飛行機雲を携えてま白き雪の蔵王連山
高城 和子
ゆずの香が手に残りたる大晦日ゆず湯すすりて今年も暮れぬ
小熊 松子
【大河原短歌会】

まちの本棚

～駅前図書館今月の新刊～

問合先 大河原町駅前図書館 TEL 0224-51-3330
開館時間 平日 10:00～19:00 FAX 0224-51-3331
土日祝 10:00～18:00

一般



『大人の敬語力大全』
鈴木 昭夫：著【ロングセラーズ】
身近な言葉の尊敬語と謙譲語の使い分け、相手に好印象を与える言い方、尊敬語と謙譲語の語形、間違いやすい使い方の反復練習などを、文化庁「敬語の指針」に基づき多くの実例を挙げてわかりやすく説く。

小説



『八州の風手控え帳』
あさの あつこ：著【文藝春秋】
「八州廻り」と呼ばれる関東取締出役の任に就く一柳直四郎。争いごとを嫌い、甘い饅頭を愛する若き役人の一番の楽しみは、村々を歩き、日記をつけること。だが、林で首吊り死体が見つかり…。『オール讀物』連載を単行本化。

児童



『はじめての動物福祉』
植木 美希：監修 町屋 奈：監修【旬報社】
動物の幸せって？ 家畜は食卓に運ばれるまでどのように過ごしている？ 動物福祉の歴史から、世界と日本の現状、ニワトリやウシなど産業動物の実態、ペットとのくらしまでを、写真やマンガとともにわかりやすく紹介する。

絵本



『ぼくの名前がきえないように』
パティスト・ポーリュー：文 チン・レン：絵
ひがき ゆみ：訳【ひさかたチャイルド】
ぼくはフランスコ。「自分の意見には自信をもって」と大人は言うけれど、ぼくは友だちや家族に、自分の意見を言えないときがある。そんなある日、コートかけのぼくの名前がきえない…。フランスの現役医師が贈る哲学絵本。

